

日 時	園 名	主な質疑・意見
6月9日（金） 16:00～17:00	やましろ保育園	<p>出席：松岡会長 森山副会長 大村書記 塚原庶務 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 尾崎園長</p> <p>○山城保育園は民営化しないのか。→公設公営園として認定こども園に移行予定となっております。</p> <p>○こども園になり保育料は変わるのか。→現行制度上変更ありません。</p> <p>○民営化する理由は。→民営化による財源的な余裕を公立に充て、公・民それぞれの利点を活かし保育所運営を行っていくため民営化を推進するものです。</p>
〃 18:30～19:30	相楽台保育園	<p>出席：平田会長 原副会長 宮田書記 江副会計 山口書記 吉尾庶務 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 山田園長 田井中園長補佐</p> <p>○統廃合により全児童が兜台保育園に入れるのか。→全児童が入れる見込みとなっております。</p> <p>○相楽台保育園関連の計画の変更点を書面でいただきたい。→書面にまとめ配布します。</p> <p>○全保護者対象の説明会の実施時期は。→7・8月を目指して実施予定となっております。</p> <p>○少人数になり行事は成立するか。→交流保育の実施など兜台保育園と連携し保育所運営を進めます。</p> <p>○兜台保育園のいいところは。→民営化することにより、国等の補助金を活用し、速やかに施設の改修等が実施できます。また、認定こども園に移行することにより、質の高い教育・保育の提供が可能となります。</p>
6月12日（月） 16:00～17:00	南加茂台保育園	<p>出席：三輪会長 藤山会長補佐 福井副会長 大仲副会長 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 森岡園長</p> <p>○統廃合により全児童がいづみ保育園に入れるのか。→全児童が入れる見込みとなっております。</p> <p>○児童人口が増えた場合保育所として残る可能性は。→人口推移に注視し検証した結果、必要に応じ計画の見直しの可能性があります。</p> <p>○南加茂台保育園を残してほしい。検証期間にしっかりした検証をしてほしい。送迎も大変になる。→保護者の皆様のご意見をお聞かせいただきながら進めてまいります。</p>

6月12日（月） 18:30～19:30	木津川台保育園	出席：白江会長 松村副会長 岡本副会長 小川書記 藤原書記 西村会計 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 五十嵐課長補佐 堀江園長  ○事業者募集し応募があるのか。→応募があることを見込んだ計画となっております。 ○在籍児童が減少しても、保育を継続してもらえるのか不安。廃園になることもあるのか。→子ども・子育て支援事業計画では木津川台の120人定員を保育の受入枠として見込んでおり、廃園の予定はありません。 ○民営化され制服になるのか。→制服など詳細については、事業者決定後、保護者の皆様の意見をお聞かせいただきながら協議を進めてまいります。 ○保育料は→現行制度上変更ありません。事業者選定では保護者負担についても考慮した選考とします。 ○民間に移行後も公立の先生に残ってもらいたい。→嘱託・臨時職員には本人の希望により移行後も残れるよう事業者と協議していきます。
		出席：谷口会長 福元副会長 内海副会長 熊橋会計 浦井庶務 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 五十嵐課長補佐 横野園長  ○園の数が減るが待機児童が出ないか。→現在待機児童はありません。保育ニーズに対応できる見込みとなっております。 ○認定こども園の職員の資格は。→保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を所持する保育教諭が保育・教育を行います。
6月13日（火） 13:30～14:30	相楽保育園	出席：成瀬会長 窪田副会長 外磯会計 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 五十嵐課長補佐 野村園長  ○清水から3歳に上がるに際し、入所調整で優遇してもらえないのか。→加点措置はありますが、希望される園の受入れ枠により必ず入所できるとは限りません。 ○民間園は経験の少ない若い保育士が多いので保護者は心配が多い。→民間園は制服をはじめとして独自性がある一方公立はベテランの保育士が多いなど、それぞれにメリット、デメリットがあります。民間園には職員研修への参加を進め、保育の質の向上に努めます。
〃 17:00～17:30	清水保育園	

6月 14日 (水) 15:30～16:30	いづみ保育園	出席：川森会長 久保副会長 榎本会計 周栄会計監査 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 南園長
		○児童数や保育士確保の都合上こども園移行年の先延ばしはあるか。→国の制度変更など社会情勢の変化等により移行年を変更する可能性はあります。 ○認定こども園では1号児童だけのクラス編成となるのか。→3歳児以上は1・2号児童混合のクラス編成となり、保育教諭が保育・教育を行うことになります。 ○1号児童枠を作ることで2号児童枠が減ることになるのか。→いづみ保育園は認可定員230人で現在180人の在籍児童となっています。2号児童の受け入れ枠を減らすのではなく、認可定員の範囲で1号児童の受け入れ枠を追加することになります。 ○1号児童の保育料は。→1号児童の保育・教育時間は4時間となっているので、現状の保護者負担徴収額基準表では2・3号児童と比較し低額となります。 ○行事はどのようにするのか。→遠足、運動会等1・2号児童が一緒に参加します。
〃 18:15～19:15	木津保育園	出席：山際会長 中島副会長 柳田副会長 中村書記 浅田書記 中川会計 山口会計 森部長 瀬戸課長 吉岡担当課長 波多野主幹 五十嵐課長補佐 吉田園長
		○計画期間において木津保育園を公立で残すことに変更した諸事情とは。→木津保育園分園の本園機能、障がい児等支援が必要な児童の受け入れ、地域子育て支援センターを併設した木津地域の拠点園機能、清水保育園児童の3歳児からの受け入れ枠の確保等を勘案し計画を変更いたしました。 ○民間園は保育料以外に徴収される額が大きい。保護者の負担となる。→幼児の給食について主食が提供されていることなどもあり、実費徴収額は公立と比較すると高くなっています。ただし、民間園で実施されている長時間保育を必要とする保護者もおられます。公立と民間それぞれの利点を活かした保育所運営を行い、多様な保育ニーズに対応していくための計画となっております。 ○計画期間修了後はどうなるのか→今後、次の計画で検討されることになります。 ○なぜ幼稚園も含めた計画となっていないのか。→保育所については、平成23年度策定した「木津川市待機

子ども・子育て会議	
資料 4	H29.7.31

	<p>児童の解消対策等ガイドライン」に基づき民営化を推進してきました。今回の民営化等実施計画について、教育委員会も事務局として参加しています。</p> <p>○計画修了年度の保育定員が計画前と比べて減っているが。→人口推計に基づく計画となっています。今後児童人口が増加した場合は計画を変更する可能性もあります。</p> <p>○今後保育が必要となる保護者にどのように計画の説明をしていくのか。→保護者の皆様と話し合いの場を持ちながら、丁寧な説明によりご理解いただくよう進めてまいります</p>
--	--